

# 令和3年度自己評価・学校関係者評価報告書

(学)聖パウロ学園 聖パウロ幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ① 身体の健康を保ち、たくましく成長する子どもに育てる。
- ② 明るく豊かな心情を養い、神を敬う気持ちを持つ子どもに育てる。
- ③ 友達と仲良く遊び、自立心のある子どもに育てる。
- ④ 自分で考えたり、工夫する態度を養い、のびのびと自由に表現できる子どもに育てる。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

聖パウロ幼稚園「教育課程」の見直しをし、自分たちの教育課程を再編成することを次の目標に掲げて取り組んだ。また、園の良さを生かしつつ、常に質の高い教育を目指していくための、学校関係者評価はどうあればよいかをテーマとした研究課題に取り組んだ。コロナ禍の中で、当初予定していた「幼小との接続」等取組みができなかったが、園内研修の充実に努めた。

## 3. 評価項目の達成目標及び取組状況

	評価目標	評価	取組状況
1	教育課程の見直し “チーム・パウロ”の 保育実践のために、 教育課程を見直し 明確にする。	A	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 教育目標を「具体的な子どもの姿で捉え」共有する。 掲げている目標が、具体的な子どもの姿として見える化することでより分かりやすく理解し合った。</li> <li>② 教育課程の見直し 1期～3期 【自分たちの分かる「教育課程」 育ちに即した「教育課程」の作成を目指す】 ・子ども達の写真(遊びの姿)から読み取った発達の姿を、1枚の模造紙に貼りだした。そのことで、1学期の育ち、2学期への育ちのつながりが見える化され、子どもの成長する姿を共有できた。</li> <li>③ マッピングを活用した保育の振り返り ・子どもの遊びの可能性、考えや感じ方に驚き感心した。また、異年齢同士が影響し合っていて学んでいることを写真を通して捉えることができた。 ・砂遊びという同じ遊びの姿を追ってみていったことで、各年齢の育ちの見通しが目に見えて分かった。</li> </ol>
2	こども理解と チーム保育 への取組み	A	個別に配慮が必要な幼児がクラスに偏っていたために、担任はクラスづくりに苦心する場面があったが、全教職員でサポート体制を整え継続して取り組んできた。その結果、個々の幼児の育ちとクラス集団としての成長がみられた。園児一人一人、どの子も特別視することなくクラスの一員として受け入れ、クラス作りに努めた。
3	学校関係者評価 への取組み	B	園の教育・保育活動やその他の園運営について年度末に全教職員で振り返り、評価する自己評価がしっかりしていることが基本であることを学んだ。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	令和3年度岩手県幼児教育幼稚園教育研究協議会の研究テーマ 「カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施する学校評価について ～幼児の育ちを支える園の質の向上のために～」 当園では研究発表に向けて全教職員で研修に取り組んだ。3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、「園の目指す教育・保育」を確認し、何よりも保育する楽しさを共有することができたことが1番の収穫であった。また、さらなる質の向上に向けた課題も明確になり、保育者自身も次に向かう意欲につながっている。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 5. 次年度重点的に取り組む課題

	課題・目標	具体的な取り組み方法
1	ECEQ 公開保育による第三者評価の取り組み	園の教育実践の質向上を目指し取り組んできた自己評価、学校関係者評価を土台として、「第三者評価 (ECEQ 公開保育)」に取り組む学びを深める
2	園庭の環境	園庭に新設された砂場を中心とした周囲の環境が、幼児にとって遊びが充実していくための環境構成になるように環境づくりに取り組む。
3	幼小接続	幼稚園と小学校の教師が共に学ぶ機会を持ち、「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」を共有して教育の接続を図る ※令和3年度の重点目標であったが、コロナ禍の中で実施することができなかったので、次年度には実施したい。

#### 6. 学校関係者評価委員会の評価

コロナ禍の中で、マスクをして過ごすことが当り前の緊張の日々であったが、最善と思われる対策を取って留まることなく保育活動を展開した。この状況の中で幼い子ども達を預かる心労は計り知れないものであったと思う。行事もその度に安心して行えるプログラムを工夫して行い、子ども達にたくさんの思い出ができたことを感謝したい。

毎日の生活の中で、一人ひとりの気持ちを尊重し寄り添い、良いタイミングで背中を押して下さる、温かく見守られて過ごす園生活の中で、自分や周りの人を大切にできる愛情あふれる子に成長することができるのだと感じた。

教師と子どもとの繋がり、関係性ができていて、それを基盤に子ども達が自分の思いを出しながら安心して園生活を過ごしていると感じた。

#### 7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。